

目 次

業務概要

1. 沿 革	1
2. 施 設	1
2. 1 位 置	1
2. 2 敷地と建物	1
2. 3 部門別内訳	2
3. 機 構	3
3. 1 組織と分掌	3
3. 2 配置人員	3
3. 3 業務分担	4
3. 4 人事記録	4
4. 決 算	5
4. 1 平成 26 年度歳入	5
4. 2 平成 26 年度歳出	5
5. 新規購入備品	7
5. 1 機 器	7
5. 2 図書(備品)	7
5. 3 学 術 雜 誌	7
5. 4 年鑑・白書	7
6. 行 事	8
6. 1 学会・研究会	8
6. 2 会 議	9
6. 3 講習会・研修会	13
6. 4 研修(企画・実施・協力)	14
6. 5 所内関係	15
7. 技 術 指 導	16
7. 1 個 別 指 導	16

8. 検 査 件 数	17
9. 業 務 概 要	19
9. 1 総務企画情報課	19
9. 2 企画調整担当	22
9. 3 検査等の事務の管理	24
9. 4 環境マネジメントシステムの運用	25
9. 5 細菌科	26
9. 6 ウイルス科	28
9. 7 大気環境科	30
9. 8 水環境科	32
10. 発 表 業 績	34
10. 1 誌上発表	34
10. 2 学会・研究会発表	35
10. 3 研究発表会	36
10. 4 平成26年度集談会	36
10. 5 保環研だより	37

調査研究

資 料

健診結果等からみた糖尿病対策の評価	38
岩谷直子	
島根県で分離された <i>Salmonella</i> の血清型と年度別推移 (2014 年度)	43
村上佳子・川上優太・川瀬 遵・角森ヨシエ・穂葉優子・佐藤浩二	
島根県沿岸における貝毒検査結果 (2014 年度)	46
川上優太・川瀬 遵・村上佳子・角森ヨシエ・穂葉優子・佐藤浩二	
島根県におけるインターフェロン γ 遊離試験(QFT) 結果 (2014 年度)	47
角森ヨシエ・川上優太・川瀬 遵・村上佳子・佐藤浩二	
インフルエンザ様疾患の流行状況(2014/2015 年)	49
滝元大和・飯塚節子	
ブタにおける日本脳炎ウイルスH I 抗体保有状況(2014 年)	53
飯塚節子・滝元大和	
島根県における高濃度光化学オキシダント事象 (2014 年度)	54
浅野浩史・船木大輔・高木智史・藤原 誠	

宍道湖・中海水質調査結果（2014 年度）	58
野尻由香里・嵯峨友樹・佐藤紗知子・岸 真司・藤原敦夫・神谷 宏	
宍道湖・中海の植物プランクトン調査結果（2012、2013、2014 年度）	65
野尻由香里・小林結衣・大谷修司	

他誌発表、抄録

他誌発表

Comparison of bacterial DNA extraction methods using human fecal samples contaminated with <i>Clostridium perfringens</i> , <i>Staphylococcus aureus</i> , <i>Salmonella</i> Typhimurium, and <i>Campylobacter jejuni</i> .	107
Jun Kawase, Morito Kurosaki, Yuta Kawakami, Takashi Kashimoto, Yoshie Tsunomori, Koji Sato, Tetsuya Ikeda, Keiji Yamaguchi, Masanori Watahiki, Tomoko Shima, Mitsuhiro Kameyama, Yoshiki Etoh, Kazumi Horikawa, Hiroshi Fukushima, Ryoichi Goto, Komei Shirabe	
浅い湖沼における滞留時間と栄養塩濃度が湖内でのCOD生産に与える影響	108
神谷 宏・大城 等・嵯峨友樹・佐藤紗知子・野尻由香里・岸 真司・藤原敦夫・神門利之・管原庄吾・井上徹教・山室真澄	
宍道湖における沈水植物大量発生前後の水質	109
山室真澄・神谷宏・石飛裕	
島根県東部を流れる斐伊川における実測負荷と二次の LQ 式を用いた計算負荷との比較	110
宮廻隆洋・管原庄吾・田林 雄・大城 等・小山維尊・中島結衣・神谷 宏・清家 泰	

学会発表抄録

公衆衛生関係 (全 国)	111
公衆衛生関係 (県 内)	115
環境衛生関係 (全 国)	116
環境衛生関係 (県 内)	119

付 録

島根県保健環境科学研究所報の調査研究報告投稿規定	120
島根県保健環境科学研究所報の調査研究報告原稿作成要領	121